

再 評 価 書

箇所名	一級水系櫛田川水系半三郎谷	事業名	砂防事業	課 名	防災砂防課 (松阪建設事務所)
事業概要	工 期 (下段当初) ^{※1}	H29 年度～R14 年度	全体事業費 (下段当初) ^{※1}	799 百万円 (負担率：国 50%：県 50%：他)	
		H29 年度～R3 年度		300 百万円 (負担率：国 50%：県 50%：他)	
事 業 目 的 及 び 内 容					
【事業目的】 一級水系櫛田川水系半三郎谷は、土石流危険渓流に指定されており、土石流危険区域内には人家 11 戸、飲食店、寺院、集会所（避難所）の保全対象が存在しています。溪岸侵食や山腹崩壊が進み多くの不安定土砂が河床に堆積している半三郎谷においては、砂防施設を整備し、土石流による災害を未然に防ぐことを目的としています。 【事業内容】 ・事業期間：H29 年～R14 年 ・全体事業費：799 百万円 ・事業内容：透過型砂防堰堤N＝1 基、溪流保全工L＝171m、管理用道路L＝392m					
事 業 主 体 の 再 評 価 結 果					
1 再評価を行った理由 平成 29 年度に事業採択後、一定期間（10 年）が経過し、なお継続中の事業であることから、三重県公共事業再評価実施要綱第 2 条（2）の規定に基づき、再評価を行いました。					
2 事業の進捗状況と今後の見込み 2－1 事業の進捗状況 事業の進捗状況としては、全体事業費 7.99 億円に対して、令和 7 年度末で進捗率は約 38%（工事 26%、用地 100%）となっています。 2－2 今後の見込み 管理用道路は一部完成（186m/392m）、また溪流保全工 171mのうち 91mを現在工事中であり、令和 14 年度の完成を目指し、引き続き事業を推進してまいります。					
3 事業を巡る社会経済情勢等の変化 周辺地域の人口は減少傾向にあるものの、災害時に配慮が必要な高齢者の割合は増加しています。 また、被害想定範囲内に 11 戸の住宅および 1 軒の飲食店が位置していることから、土砂災害が発生した場合、これらの住宅・飲食店への土砂流出が想定されます。 さらに、被害想定範囲内には、松阪市が作成した地域防災計画において土砂災害の避難所に指定される集会所（六呂木集会所）が存在しているため、避難時に土砂災害が発生した場合、人的被害の拡大が想定され、事業の必要性に変化はないと考えられます。 三重県中勢地域（辻原観測所、大石観測所）における近年の雨量は横ばい～若干の増加傾向であり、災害発生の危険度は高いままと考えられます。					

4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元意向の変化等

4-1 費用対効果分析

①前回評価時の費用対効果分析の結果 ※2

【当初評価時】(平成 29 年時)

総費用 (C) 2.76 億円
総便益 (B) 11.87 億円
費用便益比 (B/C) = 4.30

②費用対効果分析の結果 ※3

以下に、事業全体および残事業における総費用・総便益・費用便益比を示す。なお、各年次の現在価値化においては、社会的割引率 4%を用いているが、参考値として、社会的割引率 2%および 1%における B/C についても併記する。

費用便益比 (B/C)	総費用 (C) (残事業) / (事業全体)	総便益 (B) (残事業) / (事業全体)
【事業全体】	4.14 / 7.52 億円	18.70 / 20.93 億円
2.78	事業費 : 3.99 / 7.38 億円	直接被害便益 : 8.45 / 9.62 億円
参考 4.13 [2%]	維持管理費 : 0.14 / 0.14 億円	間接被害便益 : 9.93 / 11.09 億円
〃 5.20 [1%]		残存価値便益 : 0.32 / 0.23 億円
【残事業】		
4.52		
参考 6.54 [2%]		
〃 8.11 [1%]		

③感度分析の結果 ※4

以下に、事業全体および残事業における感度分析の結果を示す。感度分析としては、残事業費、残工期、資産額について±10%の範囲で実施している。

【事業全体】	【残事業】
残事業費 : B/C = 2.62 ~ 2.96 (±10%)	残事業費 : B/C = 4.12 ~ 5.00 (±10%)
残工期 : B/C = 2.77 ~ 2.79 (±10%)	残工期 : B/C = 4.50 ~ 4.53 (±10%)
資産額 : B/C = 2.51 ~ 3.06 (±10%)	資産額 : B/C = 4.07 ~ 4.96 (±10%)

4-2 その他の効果

安心・安全効果による住民の心理的不安の削減や、防災 PR・教育の場としての砂防事業への理解促進及び県民の防災意識向上の効果が得られます。

4-3 地元意向

松阪市都市計画マスタープランにおいて、政策に対する満足度・重要度について実施した市民意識調査結果より、「防災対策」は最重要項目として挙げられており、災害に強いまちづくりが求められている。

5 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性 5-1 コスト縮減 ・近隣の残土処分地を確保したことにより、残土運搬費用を削減しています。 ・残存型枠を使用することで、足場工の取付・型枠脱型などの費用を削減しています。 5-2 代替案 三重県公共事業再評価実施要綱 第3条の視点による再評価の結果、事業主体において、現行計画での事業継続が妥当と判断されるため、代替案はありません。
再 評 価 の 経 緯
本事業では、今回が初回の再評価となるため、過去からの再評価の経緯はありません。
事 業 主 体 の 対 応 方 針
三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点により再評価を行った結果、同要綱第5条第1項に該当すると判断されるため、当事業を継続したいと考えています。
委員会意見の概要【事業方針作成時に記述】
対応方針の概要【事業方針作成時に記述】

※1 再評価実施事業は(下段前回)とし、前回再評価時の内容を記載する。未実施の場合は(下段当初)とし、当初計画時の内容を記載する。

※2 再評価実施事業は、前回再評価時の内容を記載する。未実施の場合は、当初計画時の内容を記載する。

※3 当該事業を所管する省庁の費用便益分析手法に従い費用対効果分析の結果を記載する。

※4 当該事業を所管する省庁の費用便益分析手法に従い感度分析の結果を記載する。